

## 第3回 岐阜県省エネ・新エネ推進会議 —議事要旨—

---

日時：平成28年1月21日（木） 10:00～11:30

場所：岐阜県庁4階 特別会議室

---

### 議事要旨

---

#### 【議事1：次世代エネルギービジョンの改定素案について】

##### <主な委員からの意見>

##### ○次世代エネルギービジョンの改定素案について

- ・改定ビジョンの方向性は適切であり、国の方向性にも整合している。
- ・COP21では、家庭の温室効果ガス排出削減量は約40%となっている。本ビジョンにおいても国の目標と整合を図るべきではないか。
- ・社会的な関心として、温暖化問題、COP21、国の温室効果ガス26%削減などがあるので、そういった観点がないわけではないが、もう少しあっても良いのではないか。
- ・未来像について、効率的で低コストな社会だけでなく、「低炭素社会」を明示的に記述してはどうか。
- ・民生・家庭部門における省エネ対策の取り組みに係る支援として、素案に「うちエコ診断」の活用が盛り込まれたことは良いことと考える。
- ・まずは省エネが重要。具体的には建物の断熱化、省エネ機器の導入が必要であるが、既築住宅のリノベーションまで言及している点も評価できる。
- ・新規住宅だけでなく、既存住宅の対策に取り組むことは非常に良い。
- ・同居を進めることにより、世帯収入が増え、リフォーム等も可能になる。その中で省エネ対策が実施できることから、コンパクトシティの推進等もビジョンの方向性として盛り込めるとよい。
- ・小水力・バイオマス・太陽光の関係者にヒアリングを行っているが、再エネ普及のポテンシャルは高いと感じている。
- ・バイオマスは重要。現状は需給バランスが崩れ、供給が不足している。バイオマス発電の普及は材の供給が鍵を握るので、林業振興との連携が必要と考えられる。
- ・屋根貸しの取り組みが掲載されているが、これはFITに依存しない方向性に反するのではないか。

## ○次世代エネルギービジョンの推進について

- ・ バイオマスや小水力の勉強会を行っているが、実物を見ることを重視している。県民の皆様にもそのような先進施設を見ていただく機会を作ると良いのではないかと。
- ・ 次世代自動車普及や水素ステーションの整備については、OD 調査（交通量調査）の結果から、県内だけでなく愛知県など周辺自治体との連携も必要。
- ・ EV・PHV の普及が進んだのは充電設備の普及が進んだことが大きいと考えられる。EV・PHV 普及のノウハウは、FCV 普及にも応用可能と思われる。
- ・ バイオマスの現状は、薪ボイラー・薪ストーブ等への地元での供給体制は確立しつつあるが、発電用途は材の供給が足りない。隣県の施設からも燃料供給の要請がある。長野県、愛知県、三重県、福井県等を含めた広域の調整をする仕組みが必要。
- ・ 現行ビジョンの目標の達成は良いことであるが、景気に左右された面もある。改定ビジョンの 2020 年、2030 年の目標は非常に高く設定されているが、人口減少や景気の低下により達成するのでは良くないので、産業振興にも力をいれていただきたい。
- ・ ビジョンやその取り組みについて、関係団体のメンバーでさえその取り組みを知らない人が多い。各種支援制度の紹介などとあわせて、県民の方々にしっかりと認知されるよう広報・周知活動にも力を入れてほしい。
- ・ ビジョンの実現には「面」的な取り組みが重要である。「点」のような取り組みは、民間が得意であるため、行政には、県や市あるいは民間等の垣根を超えた関係者間の調整や、モデル地区、モデル都市と言った面的な取り組みなどを期待する。

## 【議事 2：今冬の電力需給状況・節電について】

### ・ 中部電力（株）

岐阜支店の一点最大電力について、1 月 19 日の 264.3 万 kW と昨年度の 286.5 万 kW に対して 22.2 万 kW 下回っている。当日の岐阜市の平均気温は 3.6℃だった。ただ、昨日 20 日に、速報値なので確定でないが 291 万 kW を記録した。

十分な予備率を確保しているので、この冬は安心して電気をお使い頂けるかと思っているが、引き続き、無理のない範囲内で節電にご協力を頂けたらありがたいと考えている。

### ・ 岐阜県

11 月に実施した節電に関する県民アンケートの結果、25、26 年の節電実績に対して、27 年の節電計画は概ね良好な数値となり、県民の皆様の間には節電に向けての意識が定着していると考えている。